

24カ月齢以上の乳牛は、すべてこの台帳に個体別に記入します。年度の途中で24カ月齢となった乳牛は、そのときに育成牛台帳から成牛台帳に転記します。

取得価額

- ・その牛が24カ月齢の時の評価額です。
- ・自家生産の乳牛は、育成にかかった金額を記入してください。
- ・年度の途中で成牛になった乳牛は、成牛繰上額を転記します。

要償却額

- ・耐用年数中に減価償却をする金額です。
- ・取得価額に0.8を掛けるか、取得価額から10万円を引くかして、金額の多い方を記入してください。

償却期間

- ・本年の減価償却費の計算の基礎となる月数です。
- ・年度の途中で売却したり耐用年数がなくなる乳牛は、1月からそれまでの月数を記入します。
- ・年度の途中で購入したり成牛に繰り入れた乳牛は、その月から年末までの月数を記入します。

減価償却費

- ・要償却額を5年で割った金額をさらに12で割り、償却期間(月数)を掛けた金額を記入します。
- ・既に耐用年数(5年)を過ぎている乳牛は、減価償却費を記入する必要はありません。

期首評価額

- ・取得価額から、成牛になってからの減価償却費の累積額を引いた金額です。
- ・既に耐用年数を過ぎている乳牛は、取得価額に0.2を掛けた額と取得価額から10万円を引いた額の、低い方を記入します。
- ・年度当初は成牛となっていない牛や途中で購入した牛は、記入する必要はありません。

期末評価額

- ・期首評価額、成牛繰上額、購入価額から、減価償却費を引いた金額を記入します。

売却価額

- ・年度途中で販売した価額です。
- ・成牛に繰り上げて売却した牛は、育成牛台帳で処理します。

処分損益

- ・売却価額から期首評価額を引いた金額です。
- ・売却価額が低いときはマイナスになります。

産次

- ・今回分娩の産次数を記入します。

分娩間隔

- ・前回分娩時から今回分娩時までの日数を記入します。

分娩予定日

- ・最終授精年月日から280日程度を想定して記入します。